

2025年度（令和7年度）地域と学校の連携・協働体制構築事業に係る成果指標							
目標	学校と地域が日常的に連携できるようになり、教職員も子どもも地域と関われる状況が増える。						
指標	コミュニティ・スクール導入率の割合（％）						
年度	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
目標値（％）	15	30					
実績値（％）	18.6	41.2					
事業における成果、課題、改善点等	コミュニティ・スクール導入校に対しておこなったアンケート調査では、「学校地域協働活動の仕組みを生かして、保護者や地域住民との協働による活動を行いましたか。」の項目において、「よくおこなった」と回答した小中学校が75％であり、国の平均を上回り、地域と学校が関わる機会が増えたといえる。 しかし、地域の人的・物的資源を生かした教育課程の編成を行うにあたり、新たな地域人材や地域課題を活かした教材研究を実践していくためには、地域の実態を知らない教職員にとっては負担となっている。						